



お江戸松愛

パナソニック松愛会 東京都支部 支部報 <http://www.shoai.ne.jp/tokyo/>

2025年11月 第91号

松愛会 東京都支部
発行人 浅野 正裕
編集人 笠井 洋



2025年9月30日現在 支部会員数 788名

東京都支部のホームページにはこちらからどうぞ →

2025年度 社会見学会を開催しました

10月4日(土)、銀座の「ケネディハウス銀座」において、首都圏支部と共に2025年度の社会見学会を開催し、総勢67名の会員の皆様にご参加をいただきました。

今年は～ハコもの（施設）見学からソフト（コンテンツ）体験へ～と銘打ち、初めて「ライブハウス」を貸し切りで開催しました。

貸し切りのメリットは、通常営業していない昼間の利用ができること、料理はビュッフェスタイル、飲み物はフリードリンクになります。また、参加者の世代や好みで演奏曲もリクエストできます。

当日は13時に有楽町駅中央改札口に集合の予定でしたが、10分前には全員集合し、会場への移動もスムーズに、予定よりも早く進みました。

会場では浅野支部長とケネディハウスの鷹取支配人の挨拶に続き、社会見学会という趣旨に合わせてスタッフの今村さんより会場の設備について説明があり、パナソニックの音響機器やプロジェクタが高性能であるとの高い評価をいただき会場より拍手がわきました。

その後はビュッフェスタイルの会食となり、テーブルごとそれぞれに会話の弾む時間となりました。



浅野支部長の挨拶と会食風景

しばらくしてお待ちかねの演奏が始まり、「ルビーの指輪」から「Country Roads」、「ザンオールスターズメドレー」で盛り上がり、グループサウンズの名曲「亞麻色の髪の乙女」と続き、「思い出の渚」では会場全体での大合唱となりました。会場では女性参加者に配られたペンライトが様々な色で輝き、男性参加者も思い思いに拍手や歓声で熱演にこたえて約50分のステージがあつという間に終演しました。



ペンライトや歓声で盛り上がる会員の皆様

終演後は松愛会本部の野口副会長、首都圏支部の正岡支部長の挨拶、支部ごとにバンドメンバーと集合写真を撮影し解散となりました。（笠井）



野口副会長の挨拶と全員での記念撮影

2025年度 友愛活動が始まります

東京都支部では、75歳以上になる会員の皆様との絆を特に大切にするべく、毎年ご様子を伺う「友愛活動」を行っています。とはいって、支部役員と対象の皆様以外にはあまり知られていませんので、今回はその活動内容を紹介します。

「友愛活動」では毎年秋に75歳以上の会員の皆様に、それぞれの在住地担当の役員から支部長のあいさつと活動の趣旨、連絡方法などを記した案内文と返信用はがきを同封してお届けしています。返信はがきはこれまでいろいろと試行錯誤してきましたが、昨年度からは自由記述欄を多くするようにしています。

いただいた返信はがきの記述内容で確認が必要なときや、返信が届かない場合は電話で直接ご様子を伺ったり、ご家族に連絡をとらせていただく場合もあります。

以前は、担当役員がご自宅などを訪問することもありましたが、コロナ禍以降ははがきによる返信と電話連絡だけにしています。

昨年度の対象者388名で、何らかの形で連絡がとれた方は362名で、回収率は93.3%でした。

連絡内容では皆様の近況報告が一番多く、お元気に活躍されている様子が伺えるうれしいお便りが最も多いのですが、中には会員の傷病報告をいただき、松愛会からのお見舞い金のお届けにつなげたり、支部や地域の活動へのご要望をお受けすることもあります。

今年も11月中にお届けいたします。多くの皆様からのご返信をお待ちしています。（笠井）



友愛活動の案内文と返信ハガキ